

4章 菊桜育成保存会の活動

担当：小野 礼子

貴重な‘菊桜’を守ろう！という みんなの強い気持ちからはじまった！

活動内容



‘菊桜’の開花調査



ワークショップ



害虫駆除



のぼりの設置



樹木の世話



本や動画でPR



設立

2018年6月

会の目的

‘菊桜’の保存に情熱を傾けた佐藤清明の遺志を受け継ぎ、栽培品種を保存し、その歴史的意義と存在を広め、後世に伝える。

岡山大学の‘菊桜’を救え

佐藤清明の業績を調べていくうち、‘菊桜’の存在がクローズアップされ始めました。岡山県下の‘菊桜’を探していくうちに、岡山大学の‘菊桜’の存在が判明し、樹勢が弱っていることが報告されました。佐藤清明が自身の手で植えたことがわかっていて、貴重な‘菊桜’を救うため、佐藤清明資料保存会のメンバーが動き出しました。樹木医の土壌改良作業と会員の手厚い養生で枯死寸前だった岡山大学の‘菊桜’は、命をとりとめて、その後も上品な花を咲かせ続けています。

2019

2018



ねまわ ひりょう あた
根回りに肥料を与えました。(7/9)



どうじつ ぼうそう し
同日に防草シートを敷きました。



いきお かいふく き
勢いが回復して咲きました。(4/27)

2022



ねまわ ひりょう ぼうそう し た せいび
根回りに肥料を与え、防草シート下も整備しました。(11/27)



どうじつ おかやまいがくかんけいしゃ さんか かんばん あたら と か
同日、岡山大学関係者が参加のもとに看板を新しく取り替えました。

2022年の活動紹介



‘菊桜’のキーホルダー作り (5/21)

子どもたちに‘菊桜’に興味を持ってもらうため、UV レジンを使った菊桜のキーホルダーのワークショップを開きました。



‘菊桜’写真展 (10月開催)

里庄町歴史民俗資料館と里庄町立図書館で、岡山県内の‘菊桜’の写真を展示して、その魅力をひろめました。

